

# 統合上水道等の現状と課題

令和2年5月

総務省自治財政局公営企業経営室

# 統合上水道等の現状と課題

- 統合上水道※の事業数は、上水道事業全体の事業数の約40%。
  - ・ 全上水道事業数 1,269事業に対して、統合上水道は487事業(38.4%)
  - ・ 給水人口ベースでは、統合上水道が上水道事業全体に占める割合は27.9%
  - ・ 統合上水道の事業数が上水道事業全体に占める割合は、都道府県ごとに大きな地域差がある
- 統合上水道の管路の状況等を上水道全体と比較すると、厳しい状況にある。  
「1m<sup>3</sup>当たり管路延長」が長く、「有収率」及び「管路更新率」が低い状況にあり、全体的に施設の老朽化が進むなか、必要な更新投資が進んでいない状況にあると考えられる。
  - ・ 「1m<sup>3</sup>当たり管路延長」が上水道の全国平均以上の団体が487団体中、450団体(92.4%)
  - ・ 上記の要件、かつ、「管路更新率」が全国平均以下又は「有収率」が全国平均以下の団体は、それぞれ324団体(66.5%)、388団体(79.7%)。管路の更新投資が進んでおらず、水漏れ等の管路の老朽化が進んでいる実態にある。
- 統合上水道の経営状況等を上水道全体と比較すると、「料金回収率」が低く、「給水原価」等が高くなっている。  
特に、「資本費」が高い又は「1m<sup>3</sup>あたり管路延長」が長いほど、「料金回収率」が低い傾向にある。
- 類型別にみると、簡易水道のみの統合で上水道となった場合(簡+簡=上)、経営状況を表す指標は、簡易水道に近く厳しい状況にある。  
簡易水道と上水道が統合し、上水道となった場合(簡+上=上)、経営状況を表す指標は、旧簡易水道区域の給水人口比率が高いほど、厳しい状況にある。

※ 複数の簡易水道事業が事業統合して設置された上水道事業(簡易水道+簡易水道=上水道)又は簡易水道事業が事業統合された上水道事業(簡易水道+上水道=上水道)をいう。以下同じ。